

addCad 更新プログラム 2023 で新たに追加されたコマンド

addS_DIMARCSB [円弧並列寸法記入]

円または円弧上の点を指定して寸法値を円弧長で表示する角度寸法を並列記入します。

アクセス方法



リボン: [寸法]→[寸法]→[円弧直列寸法記入]ドロップダウン

解説:

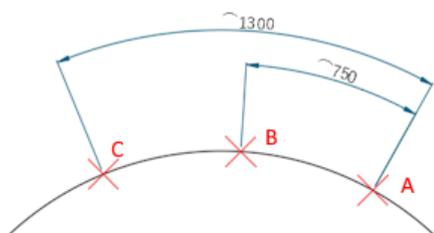
寸法のプロパティ「寸法値の優先」が円弧長さに上書きされます。

「記号」オプションで \frown 記号のあり・なしを変更できます。

「作図方向」オプションで 反時計回り・時計回りを切替できます。

手順:

1. [円弧並列寸法記入] ボタンをクリックします。
2. 円または円弧を選択します。
3. 寸法補助線の起点として点 A と点 B を指示します。
4. 円弧寸法の位置を指定します。
5. 続けて起点として点 C を指示します。
6. [Enter]キーでコマンドを終了します。



addS_MLsetByLayer [注釈の色を ByLayer に設定]

マルチ引出線 の注釈、マルチテキストを ByLayer に変更します。

アクセス方法



リボン: [注釈]→[引出線]→[マルチ引出線を編集]ドロップダウン

解説:

選択したマルチ引出線の注釈・マルチテキストを ByLayer に変更します。

手順:

1. [注釈の色を ByLayer に設定] ボタンをクリックします。
2. マルチ引出線 または マルチテキスト を選択します。

addS_ViewportLock[ビューのロック切り替え (一括)]

レイアウトのビューポートのロックをまとめて切り替えます。

アクセス方法

ボタン: 

リボン: [ファイル・出力]→[レイアウト]→[ビューのロック切り替え(一括)]

コマンド入力: addS_ViewportLock

ビューポートのロックを設定するレイアウトを入力 <すべて(A)> [現在ののみ(C)/すべて(A)]: A

ビューポート表示ロック <オン(ON)> [オン(ON)/オフ(OFF)]: OFF

○ 'A1' タブの 1 ビューポートのロックを解除しました

○ 'A3' タブの 2 ビューポートのロックを解除しました

解説:

ビューポートのロック/ロック解除をまとめて切り替えます。

手順:

1. [ビューのロック切り替え(一括)] ボタンをクリックします。
2. 対象となるレイアウト [現在ののみ(C)/すべて(A)]を選択します。
3. ロック [オン(ON)/オフ(OFF)]を選択します。

addS_3DHITXT [3D 高さ文字記入]

指示した点の Z 値をマルチテキストで記入します。

アクセス方法

ボタン: 

リボン: [ホーム 3D]→[adds3D]→3D 高さ文字記入]ドロップダウン

コマンド入力: addS_3DHITXT

現在の設定: 単位=ミリメートル(L) 精度=0.0(1)

点を指定 または [設定(S)]:

点を指定(Enter で終了):

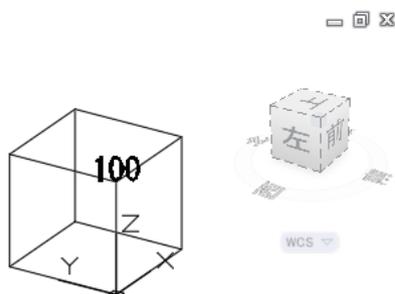
解説:

指示した点の Z 値が現在の文字スタイルでマルチテキストとして記入されます。

[設定(S)] オプションで単位と精度を変更できます。

手順:

1. [3D 高さ文字記入] ボタンをクリックします。
2. 高さを記入する点を指定します。
3. [Enter]キーでコマンドを終了します。



addS_3DHILTXT [3D 高さ引出線記入]

指示した点の Z 値を引出線で記入します。

アクセス方法



リボン: [ホーム 3D]→[adds3D]→3D 高さ文字記入]ドロップダウン

コマンド入力: `addS_3DHILTXT`

現在の設定: 単位=ミリメートル(L) 精度=0.0(1)

引出線の 1 番目の点を指定 または [設定(S)]:

次の点を指定 (Enter で終了):

解説:

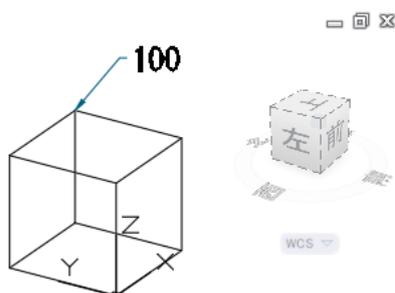
指示した点の Z 値が現在の引出線スタイルで引出線の注釈として記入されます。

注釈はマルチテキストになります。

[設定(S)] オプションで単位と精度を変更できます。

手順:

1. [3D 高さ引出線記入] ボタンをクリックします。
2. 高さを記入する点を指定します。
3. 引出線の折れ位置を指定します。
4. [Enter]キーでコマンドを終了します。



addCad 更新プログラム 2023 で改善されたコマンド・機能

addS_DIMARCS [円弧直列寸法記入]

「 \frown 記号」「作図方向」オプションを追加しました。 \frown 記号あり・なし、反時計回り・時計回りを切替できます。

コマンド入力: addS_DIMARCS

現在の設定: \frown 記号 = あり、作図方向 = 反時計回り

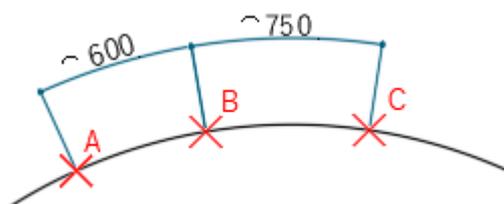
円または円弧を選択 [記号(0)/作図方向(1)]:

円周上の寸法線の 1 点目を指定:

円周上の寸法線の 2 点目を指定:

寸法値位置を指定:

円周上の寸法線の 2 点目を指定:



adds_Capture[キャプチャ] / adds_CaptureF[キャプチャ保存]

「オブジェクトスナップ」オプションを追加しました。作図ウインドウでの範囲選択時に OSNAP を使用することもできます。

コマンド入力: adds_CaptureF

現在の設定: 背景 = 透明、図形色 = カラー、オブジェクトスナップ = ON

キャプチャ範囲の最初のコーナーを指定 または [背景色(B)/図形色(O)/オブジェクトスナップ(S)]: S

オブジェクトスナップ : <ON> [オン(ON)/オフ(OFF)]: ON

adds_3DLITXT [3D 線分長さ記入] / adds_3DDITXT [3D 距離記入]

「設定」オプションを追加しました。単位と精度を変更できます。

コマンド入力: adds_3DLITXT

現在の設定: 単位=ミリメートル(L) 精度=0.00(2)

1 点目を指定 (Enter で終了):

2 点目を指定 または [設定(S)]:

単位を指定[メートル(M)/センチメートル(C)/ミリメートル(L)]<L>: M

少数以下の桁数を指定[0(0)/0.0(1)/0.00(2)/0.000(3)/0.0000(4)]<0>: 2

2 点目を指定 (Enter で終了):

adda_STAIRSEC[階段断面作図]

過去の更新プログラムにより発生していたと思われる作図できない不具合を修正しました。